

2014 年度 建設マネジメント委員会

研究成果発表会及び表彰式

主催:土木学会 建設マネジメント委員会

日時:平成26年8月8日(金) 13:00~17:20 (終了時刻は変更する可能性があります)

場所:土木学会講堂 新宿区四谷1丁目(外濠公園内)TEL 03-3355-3559

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内

(JR「四ツ谷」駅の四ツ谷口より徒歩3分、地下鉄南北線「四ツ谷」駅の3番出口より徒歩3分、地下鉄丸の内線「四ツ谷」駅より徒歩5分)(<http://www.jsce.or.jp/map/frameset.htm>にて地図を入手できます。)

参加費:無料(資料代1,000円)

申込:下記のHPより「申込画面」へすすみ、お申し込み下さい

(<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp> ⇒ 行事コード:45405)

13:00~13:10

開会の挨拶 :建設マネジメント委員会 福本 勝司委員長

【表彰式】

13:10~13:20

表彰発表 :表彰小委員会 加藤 和彦 小委員長

13:20~13:25

表彰状授与 :建設マネジメント委員会 福本 勝司 委員長

13:25~13:35

論文賞受賞論文概要紹介 :受賞者

13:35~14:00

グッド・プラクティス賞概要紹介 :表彰小委員会

14:00

閉会

14:00~14:15

休憩

【研究小委員会の部】 ※プログラムは変更になる可能性があります。

14:15~14:55	競争的対話の導入に向けて — 欧州における実績とわが国への適用に向けた課題 —
<p>当小委員会では、日本のインフラ分野での PFI/PPP 導入に関する研究を、</p> <p>(1)PFI/PPP レビュー・提言-WG、</p> <p>(2)道路 PPP-WG、</p> <p>(3)ベストパートナーシップ WG の 3WG を設置し実施してきている。</p> <p>今回の発表会では、(2)、(3)両 WG の研究成果に関してはその概要を簡潔に報告した後に、(1)において重点的に検討を進めてきている「競争的対話」に関する検討成果を中心に発表する。</p> <p>その内容は、わが国における公共調達及び PFI/PPP 事業における競争的対話の適用に向けた論点と課題が中心となる。具体的には、以下の内容について報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 先進的事例を有する欧州における競争的対話の実施プロセス • 欧州における実績と問題点 • 競争的対話の Value for Money に関する概念整理 • 競争的対話と改正品確法との関連 	
インフラ PFI・PPP 研究小委員会（第 1種継続）	<p>宮本和明（東京都市大学）</p> <p>大西正光（京都大学）</p>

14:55~15:35	ケースメソッドによる災害対応マネジメント力の育成について ～25年度重点研究成果の概要と制作ケース（教材）の紹介～
<p>「建設分野における災害対応マネジメント力の育成に関する研究」 （25年度土木学会重点研究） の研究成果の概要と研究の中で制作した ケース（教材）の代表事例の紹介</p> <p>（具体的内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 災害対応マネジメント力の育成にケースメソッドの手法が有効であることを、経営能力育成におけるケースメソッド活用との対比、今日の災害対応力育成の研修の実態等の分析から明らかにした。 • 東日本大震災での災害対応の実例を題材にしてケース（教材）づくりに取り組み（11 ケースが完成）、災害対応力の育成に資するケースづくりのあり方について枠組みを整理した。 • あわせて、模擬授業等を通じて、ケースメソッドの実践の場での活用手法などについて提言した。 <p>研究成果発表会では、この研究成果の概要と制作したケースの代表事例について発表する。</p>	
災害対応マネジメント力育成研究小委員会（第1種継続）	<p>木下賢司（PC 建協）他</p>

15:35~16:10	公共事業執行システム研究小委員会の研究成果報告
<p>平成 23 年 8 月に「公共事業改革プロジェクト小委員会報告書」において事業マネジメント概念の導入と新たな公共事業調達法が提案されたが、公共事業執行システムの改革を実現するには、海外の例を参考にしつつ、地域建設産業の現状と課題を把握したうえで、発注者の役割の見直しを行うことが必要である。</p> <p>これらの課題について本研究小委員会は、平成 24 年 8 月以降 13 回にわたり会合を開催して情報収集・ヒアリング等を行った。昨年度行った地方公共団体の技術力実態把握アンケートのとりまとめ結果を含め、これまでの研究で明らかになったことと今度の課題について発表する。</p>	
公共工事執行システム研究小委員会（第 2 種継続）	木下誠也（日本大学）、森芳徳（土木研究所）、天満知生（国土技術政策総合研究所）、村岡治道（岐阜大学）

16:10~16:25	休 憩
--------------------	------------

16:25~16:45	環境修復事業におけるプログラムマネジメント導入に関する研究
<ol style="list-style-type: none"> 1. 当研究委員会の研究実績 2. 研究の背景・目的及び内容 3. 環境修復事業ビジネスの現状と課題 4. プログラムマネジメントとは 5. 環境修復事業の失敗事例やリスク事項に対し、プログラムマネジメントの概念要素を導入した検討結果 6. 環境修復事業におけるプログラムマネジメント導入に関する研究（中間段階） 7. 当研究の課題と今後の方向性 	
環境修復事業マネジメント研究小委員会（第 2 種終了）	下池 季樹（国際環境ソリューションズ株）

16:45~17:10	地域貢献としての地場企業の災害対応についての調査—北部九州豪雨災害の事例—（中間報告）
<p>平成 24 年 7 月の北部九州豪雨災害において、被災直後の災害復旧に係る地場建設業者の対応について、被害甚大であった福岡県八女地区ならびに熊本県阿蘇地区の地場業者を対象にアンケート調査を実施した結果について報告する。災害復旧を行う際の諸課題の他、災害対応を行う企業のメリット・デメリット等マネジメントの観点からの課題もあわせて報告する。</p>	
地方における公共工事の入札契約方式に関する研究小委員会（第 3 種継続）	牧角 龍憲（九州共立大学総合研究所）

17:10~17:20

閉会の挨拶 : 運営小委員会 山本貴弘 小委員長

講演なし
(資料のみ)

地方都市整備プロジェクトの効果的・効率的推進のための「一般社団法人地域マネジメントセンターRMC」の設立と運営に関する実証的検討
— 滋賀県湖南市における持続可能な都市発展を目指して —

『「地域マネジメント協議会(湖南市)」設立と、協議会を活用した地方都市再生事業化構想検討に関する実証的な努力と成果』に関しては昨年度に報告した。都市開発・整備構想はこの協議会で承認されたが、地元湖南市・滋賀県、地元住民・企業、農商工各種団体・組織の参加する「都市開発・基盤整備プロジェクト設計」や、「各種プロジェクトのファイナンス・マネジメントシステム分析と事業化体系の設計」などは今年度進められる。これらは、昨年度末に設立した「一般社団法人地域マネジメントセンターRMC」が中心となって、関連主体間協調の下で総合的に検討され始めた。本発表では、ここで検討されている『湖南市の将来発展を目指す「都市再生構想」と、この構想で描いた「JR草津線3駅を都市核とし都市計画道路体系を効果的に活用した都市社会システム』を、「農商工活動のハイブリッド型コンパクトシティ」として実現する方法として論じるとともに、現在検討している「複数のプロジェクトの効果的事業化と湖南市都市開発会社の設立・運営概念」を示す。

地域マネジメント
研究小委員会 (第
2種継続)

春名 攻 ((一社) RMC/立命館)



■問い合わせ
: 公益社団法人 土木学会
研究事業課 建設マネジメント委員会
担当 久米村 秀明

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内
TEL: 03-3355-3559
E-mail: kumemura@jsce.or.jp


土木学会
The Construction Management Committee
建設マネジメント委員会